

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 松江 裕二

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	194,671	△0.6	24,144	0.3	23,177	△2.9	16,349	△1.7
21年3月期第1四半期	195,819	—	24,061	—	23,863	—	16,635	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	57.39	57.38
21年3月期第1四半期	58.39	58.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,127,408	430,445	37.7	1,492.20
21年3月期	1,148,163	433,045	37.3	1,502.08

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 425,130百万円 21年3月期 427,952百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	70.00	—	70.00	140.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	70.00	—	80.00	150.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	395,000	△1.0	47,500	2.1	44,500	2.0	28,000	△2.5	98.28
通期	820,000	4.9	103,000	12.2	97,000	17.5	63,000	32.1	221.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、12ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 296,566,949株 21年3月期 296,566,949株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 11,664,870株 21年3月期 11,660,830株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 284,904,136株 21年3月期第1四半期 284,900,238株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、9ページをご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する概要

1) 当四半期の経営成績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

[売上高、利益の状況]

○ 当四半期の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	1,946億71百万円	(前年同期比)	0.6%減)
営業利益	241億44百万円	(同)	0.3%増)
経常利益	231億77百万円	(同)	2.9%減)
四半期純利益	163億49百万円	(同)	1.7%減)

○ 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が747億87百万円(前年同期比2.5%増)と増加しましたが、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」(米国名「アシフェックス」)は367億10百万円(同10.1%減)となりました。また、がん関連領域製品の売上高は197億25百万円(同0.7%増)となり、連結売上高の10%を超えました。

○ 研究開発活動への積極的な資源投入を引き続き行う一方で、販売管理費の効率化を進めた結果、営業利益は前年並みとなりました。また、経常利益および四半期純利益は前年実績を下回りました。

○ これにより、1株当たり四半期純利益は57円39銭(前年同期より1円1銭減)となりました。

[キャッシュ・インカム]

○ 当社グループは、キャッシュ創出力を表す経営指標として、キャッシュ・インカムを使用しております。

○ キャッシュ・インカムは、成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

○ 当四半期純利益は163億49百万円、有形・無形固定資産の減価償却費は121億22百万円およびのれん償却額は22億21百万円となりました。

○ その結果、当四半期のキャッシュ・インカムは306億94百万円(前年同期比3.6%減)となり、1株当たりキャッシュ・インカムは107円73銭(前年同期より4円2銭減)となりました。

*キャッシュ・インカムの算式

当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

*1株当たりキャッシュ・インカムの算式

キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものであります)

①事業の種類別セグメント

<医薬品分野>

- 「アリセプト」の売上高は堅調に推移しましたが、「パリエット／アシフェックス」の売上高は減少しました。
- この結果、医薬品分野の売上高は1,901億47百万円(前年同期比0.2%減)となりましたが、販売管理費の効率化により営業利益は251億8百万円(同0.7%増)となりました。

<その他の分野>

- 食品添加物、化学品、製薬用機械等の売上高は45億23百万円(前年同期比13.0%減)、営業利益は3億93百万円(同90.5%増)となりました。

②所在地別セグメント

<日 本>

- 売上高は907億27百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は224億28百万円(同1.1%増)となりました。
- 医療用医薬品では、「アリセプト」の売上高は233億88百万円(前年同期比20.3%増)、「パリエット」の売上高は134億10百万円(同21.4%増)とそれぞれ伸ばいたしました。

<北 米>

- 売上高は837億73百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益は5億52百万円(同161.0%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は426億55百万円(前年同期比1.7%減、現地通貨では5.6%増)、「アシフェックス」の売上高は197億88百万円(同23.6%減、現地通貨では17.9%減)となりました。

<欧 州>

- 売上高は126億4百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益は12億73百万円(同45.3%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は71億56百万円(前年同期比10.0%減)、「パリエット」の売上高は20億60百万円(同16.2%減)となりました。
- 平成21年4月に医薬品販売会社 Eisai GesmbH をオーストリアに設立いたしました。

<中 国>

- 売上高は34億9百万円(前年同期比23.4%増)、営業利益は3億57百万円(同44.2%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は2億2百万円(前年同期比58.4%増)、「パリエッ

ト」の売上高は3億69百万円(同187.7%増)となりました。

<アジア他> (中国を除く)

- 売上高は41億55百万円(前年同期比18.7%減)、営業利益は8億13百万円(同39.4%減)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は13億83百万円(前年同期比30.8%減)、「パリエット」の売上高は10億81百万円(同17.3%減)となりました。

<海外計>

- 日本を除く海外所在地別売上高の合計は、1,039億43百万円(前年同期比6.6%減)となり、連結売上高に対する構成比は53.4%(前年同期より3.5ポイント減)となりました。

2) 研究開発などの状況

[開発品の状況]

- 抗がん剤「E7389」（微小管ダイナミクス阻害剤）は、乳がんを対象としたフェーズⅢ試験を欧米で実施しており、日本でもフェーズⅡ試験が進行中であります。また、非小細胞肺癌（米国）、前立腺がん（欧米）、肉腫（欧州）を対象としたフェーズⅡ試験等を進めております。なお、平成21年7月、スイスにおいて、211試験（フェーズⅡ試験）等の試験結果に基づき、局所進行・転移性乳がんを適応として承認申請をいたしました。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」は、日本、米国、欧州での同時申請をめざして、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であります。本試験は、国際共同試験として取り組んでおります。
- AMPA受容体拮抗剤「E2007」は、神経因性疼痛、てんかんの2つの適応における開発に集中展開しております。欧米では、てんかんを対象としたフェーズⅢ試験、神経因性疼痛を対象としたフェーズⅡ試験が進行中であります。日本では、てんかんを対象としたフェーズⅡ試験を進めております。
- アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は、平成21年7月、日本で新剤形の内服ゼリー剤の承認を取得いたしました。また、米国で実施していた23mg徐放製剤のフェーズⅢ試験が終了し、申請に向けて準備を進めております。なお、平成21年6月、小児患者様のがん化学療法後の注意力障害に対する有用性を証明することを目的とした小児用開発計画について、米国食品医薬品局（FDA）より Written Request（臨床試験実施要請書）を発行しない旨の連絡を受けました。
- DNAメチル化阻害剤「Dacogen」は、平成21年7月、米国で骨髄異形成症候群の治療において5日間投与とする用法・用量追加の申請が受理されました。また、平成21年6月、小児急性骨髄性白血病に対する有用性を検証するための試験実施に関して米国食品医薬品局（FDA）より Written Request（臨床試験実施要請書）を受領いたしました。
- 抗がん剤「MORAb-003」（モノクローナル抗体）は、米国で卵巣がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始いたしました。
- 糖尿病合併症治療剤「AS-3201」は、欧州で糖尿病性神経障害を対象としたフェーズⅡ／Ⅲ試験を開始いたしました。

[主な提携などの状況]

- 平成21年5月、シンバイオ製薬株式会社（東京都）と、韓国およびシンガポールの2カ国を対象とした「ベンダムスチン塩酸塩」の開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結いたしました。本契約により、当社は韓国およびシンガポールにおけるベンダムスチンの独占的開発および販売権を獲得いたしました。

- 平成21年7月、当社のジェネリック医薬品事業子会社エルメッド エーザイ株式会社は、株式会社三和化学研究所（愛知県）と、経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤「メニレット70%ゼリー20g」および「メニレット70%ゼリー30g」に関して、日本における販売に係るライセンス契約を締結いたしました。本契約により、エルメッド エーザイは三和化学研究所より日本国内における本製品の独占的販売権を獲得いたしました。また、当社は本製品の販売に関してエルメッド エーザイと販売提携をいたしました。
- 平成21年7月、Biocompatibles International plc（英国）と血管塞栓用ビーズに関する日本における開発と販売に係るライセンス契約を締結いたしました。本契約により、当社は、Biocompatibles International plc が開発したポリビニルアルコールハイドロジェルマイクロスフィアとその関連製品について、日本での独占的開発および販売権を獲得いたしました。

[その他]

- 平成21年6月、欧州戦略拠点「欧州ナレッジセンター」（英国ハットフィールド）を正式に開設いたしました。本センターには、ロンドン研究所の拡張・強化のための探索研究機能をはじめとして、臨床研究、生産、マーケティング、欧州事業統括の各機能が集約されました。これらの機能が1カ所に所在することにより、各機能間の日常のコミュニケーションが円滑に進められ、本センターの名称にふさわしい「ナレッジ・クリエーション」がはかられることとなります。また、生産に関しては、当社にとって欧州初の拠点であり、これまで提携パートナー社等に依存してきた製造を自社で担うこととなります。

欧州事業展開において、当社は欧州を1つの市場と捉え、マーケティング、メディカル、ファイナンス、ITなどのサービス機能を欧州統括会社に集約させ、一方、各販売会社には販売に特化した機能を持たせることで、高い効率性・生産性の確保を追求した独自の新たなビジネスモデルである「欧州効率化モデル」への転換を進めております。今回の「欧州ナレッジセンター」の完成により、本ビジネスモデルを強力的に推進する体制が整いました。

2. 連結財政状態に関する概要

[資産等の状況]

- 当四半期末の資産合計は、1兆1,274億8百万円(前期末より207億55百万円減)となりました。主な減少は、有価証券、無形固定資産などであります。
- 負債合計は6,969億62百万円(前期末より181億55百万円減)となりました。
- 純資産合計は4,304億45百万円(前期末より25億99百万円減)となり、自己資本比率は37.7%(前期末より0.4ポイント増)となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

- 当四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、5億37百万円の支出(前年同期は185億64百万円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益は231億45百万円、減価償却費は121億22百万円、売上債権の増加額は66億49百万円、法人税等の支払額は310億27百万円であります。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、128億51百万円の支出(前年同期より51億14百万円増)となりました。そのうち、有形固定資産の取得に58億81百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、122億71百万円の支出(前年同期より77億32百万円減)となりました。配当金の支払いに199億43百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、1,052億19百万円(前期末より263億7百万円減)となりました。

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

[連結業績予想]

○第2四半期連結累計期間、通期の連結業績予想については、変更していません。

(%表示：通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	395,000	△1.0	47,500	2.1	44,500	2.0	28,000	△2.5	98.28
通期	820,000	4.9	103,000	12.2	97,000	17.5	63,000	32.1	221.13

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

○ 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

○ 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

4. コーポレートガバナンスに関連する事項

1) 取締役の選任

平成21年6月19日開催の当社第97回定時株主総会において、社外取締役7名を含む11名の取締役が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、取締役候補者については、指名委員会が自ら定めた取締役候補者選任基準に則り選任し、議案として上程いたしました。特に、社外取締役候補者については、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役の要件を満たすとともに、以下の指名委員会が定めた社外取締役の独立性・中立性の要件を満たしております。

「社外取締役の独立性・中立性の要件」

(平成21年1月30日改正)

1. 社外取締役は、以下の要件を満たし、当社および当社の関係会社（以下併せて当社グループという）ならびに特定の企業等から経済的に独立していなければならない。
 - ①社外取締役は、過去5年間に、当社グループから一定額以上の報酬（当社からの取締役報酬を除く）または業務、取引の対価等金銭その他の財産を直接受け取っていない。
 - ア. 一定額以上とは、過去5年間のいずれかの会計年度における受取額が1千万円以上となるものをいう
 - イ. 本人が間接的に受け取っている場合は、その実質について慎重に判断する
 - ②社外取締役は、過去5年間に、以下の企業等（持株会社を含む）の取締役、執行役、その他の役員であってはならない。
 - ア. 過去5年間のいずれかの会計年度に、当社グループとの業務、取引の対価の支払額または受取額が、取引先の売上高の2%以上ある企業等
 - イ. 取引額にかかわらず、当社の監査法人等、当社グループと実質的な利害関係を有する企業等
 - ウ. 当社の大株主（発行済株式総数の10%以上の保有）である企業等
 - エ. 当社グループが大株主（発行済株式総数の10%以上の保有）となっている企業等
 - ③社外取締役は、前号に定める企業等の取締役、執行役、その他の役員を退任後5年以上経過した場合であっても、当該企業等との関係を以下の点で指名委員会が評価し、独立性・中立性を確保していると判断されなければならない。
 - ア. 社外取締役の当該企業等の株式保有
 - イ. 社外取締役の当該企業等からの退任後の処遇
 - ウ. 当社グループと当該企業等の人的交流
2. 社外取締役は、当社グループの取締役、執行役の近親者またはそれに類する者であってはならない。
 - ①近親者とは、配偶者、3親等までの血族および同居の親族をいう
 - ②それに類する者とは、個人的な利害関係者など、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる人間関係を有している者をいう
3. 社外取締役は、第1項に該当する者と生計を一にする利害関係者であってはならない。
4. その他、社外取締役は、独立取締役としての職務を果たせないと合理的に認められる事情を有してはならない。
5. 社外取締役は、本条に定める独立性・中立性の要件を、取締役就任後も継続して確保するものとする。

2) 取締役体制の決定

定時株主総会終了後の取締役会において、取締役議長の選定ならびに指名、監査および報酬委員会の各委員長および委員が選定され、それぞれ就任し、次のとおり取締役の体制が決定されました。

取締役	内藤晴夫	代表執行役社長兼最高経営責任者(CEO)
取締役	小川哲司	監査委員会委員
取締役	三井博行	
取締役	藤吉彰	監査委員会委員
社外取締役	コー・ヤン・タン	報酬委員会委員長、指名委員会委員
社外取締役	八田進二	監査委員会委員長
社外取締役	谷川紀彦	取締役議長
社外取締役	安崎暁	指名委員会委員長、報酬委員会委員
社外取締役	宮原諄二	指名委員会委員、報酬委員会委員
社外取締役	矢吹公敏	監査委員会委員
社外取締役	クリスティーナ・アメージャン	監査委員会委員

なお、同日開催された社外取締役だけで構成される社外取締役独立委員会（委員長：矢吹公敏）では、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」（以下、本対応方針）について、株券の電子化に伴い「実質株主名簿」に関する字句の削除を行うが、本対応方針が以下の仕組みを有しており、内容としては現行で継続することを当社取締役会に提案する旨決議いたしました。

- ① 経営陣の恣意性が排除されている。
- ② 本対応方針は、毎年、継続・見直し・廃止が検討される。
- ③ 取締役選任議案をもって、本対応方針に対する株主の皆様のご意向を反映できる。

平成21年7月31日開催の取締役会において、社外取締役独立委員会から提案のあった本対応方針の継続が審議され、承認されました。本件については、同日、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について」としてリリースいたしました。

本対応方針の内容については、当社のホームページに掲載しておりますのでご参照ください。（<http://www.eisai.co.jp/company/governance.html>）

5. その他

1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(1) 簡便な会計処理

- ① 当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出においては、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

6. 四半期連結財務諸表
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,023	48,061
受取手形及び売掛金	197,631	191,622
有価証券	78,400	104,018
商品及び製品	32,891	33,853
仕掛品	18,751	17,228
原材料及び貯蔵品	13,059	13,435
繰延税金資産	35,557	36,860
その他	20,808	20,016
貸倒引当金	△326	△320
流動資産合計	446,797	464,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,953	79,211
その他(純額)	73,231	76,286
有形固定資産合計	157,184	155,497
無形固定資産		
のれん	164,507	170,570
販売権	136,841	143,614
技術資産	54,916	56,978
その他	12,450	13,061
無形固定資産合計	368,716	384,225
投資その他の資産		
投資有価証券	66,229	60,583
繰延税金資産	76,392	70,792
その他	12,420	12,659
貸倒引当金	△331	△373
投資その他の資産合計	154,710	143,662
固定資産合計	680,610	683,385
資産合計	1,127,408	1,148,163

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,559	19,095
短期借入金	30,000	22,000
未払金	60,858	70,870
未払費用	58,228	54,571
未払法人税等	14,326	33,098
売上割戻引当金	33,571	32,564
その他の引当金	632	553
その他	9,130	8,848
流動負債合計	225,308	241,603
固定負債		
社債	120,918	120,939
長期借入金	277,207	278,761
繰延税金負債	26,769	27,679
退職給付引当金	22,889	21,774
役員退職慰労引当金	2,362	2,408
その他	21,507	21,951
固定負債合計	471,654	473,514
負債合計	696,962	715,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,949	56,949
利益剰余金	419,711	423,305
自己株式	△39,695	△39,683
株主資本合計	481,951	485,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,464	1,125
繰延ヘッジ損益	△439	△437
為替換算調整勘定	△60,846	△58,293
評価・換算差額等合計	△56,820	△57,605
新株予約権	631	613
少数株主持分	4,682	4,479
純資産合計	430,445	433,045
負債純資産合計	1,127,408	1,148,163

2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	195,819	194,671
売上原価	39,345	38,289
売上総利益	156,474	156,381
返品調整引当金繰入額	6	52
差引売上総利益	156,467	156,328
販売費及び一般管理費	※1 132,406	※1 132,184
営業利益	24,061	24,144
営業外収益		
受取利息	800	320
受取配当金	546	469
為替差益	240	541
負ののれん償却額	81	—
その他	101	65
営業外収益合計	1,769	1,397
営業外費用		
支払利息	1,514	2,060
社債発行費	348	—
持分法による投資損失	8	—
その他	95	303
営業外費用合計	1,967	2,364
経常利益	23,863	23,177
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	432	—
子会社株式売却益	1,575	—
その他	—	2
特別利益合計	2,011	5
特別損失		
固定資産処分損	59	36
投資有価証券評価損	610	—
その他	28	0
特別損失合計	698	37
税金等調整前四半期純利益	25,177	23,145
法人税、住民税及び事業税	16,041	13,291
法人税等調整額	△7,699	△6,674
法人税等合計	8,341	6,617
少数株主利益	199	178
四半期純利益	16,635	16,349

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,177	23,145
減価償却費	12,268	12,122
のれん償却額	2,390	2,221
その他の損益(△は益)	464	1,324
売上債権の増減額(△は増加)	△17,830	△6,649
たな卸資産の増減額(△は増加)	△594	52
仕入債務の増減額(△は減少)	△511	△819
その他の流動負債の増減額(△は減少)	6,549	△1,137
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	6,194	1,767
その他	△4	△564
小計	34,104	31,463
利息及び配当金の受取額	1,395	832
利息の支払額	△1,472	△1,806
法人税等の支払額	△15,462	△31,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,564	△537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,546	△5,881
無形固定資産の取得による支出	△760	△4,320
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△8,004	△3,273
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	11,312	3,373
その他	1,262	△2,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,736	△12,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△193,825	8,000
長期借入れによる収入	73,185	—
社債の発行による収入	119,616	—
配当金の支払額	△18,518	△19,943
その他	△461	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,003	△12,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,202	△647
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,972	△26,307
現金及び現金同等物の期首残高	119,950	131,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,977	105,219

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	190,622	5,197	195,819	—	195,819
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	58	3,629	3,688	(3,688)	—
計	190,681	8,827	199,508	(3,688)	195,819
営業利益	24,943	206	25,150	(1,089)	24,061

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	190,147	4,523	194,671	—	194,671
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	66	4,211	4,277	(4,277)	—
計	190,214	8,734	198,948	(4,277)	194,671
営業利益	25,108	393	25,502	(1,357)	24,144

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	84,473	89,535	13,934	2,763	5,113	195,819	—	195,819
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,248	14,094	9,648	9	103	49,105	(49,105)	—
計	109,721	103,629	23,582	2,773	5,216	244,925	(49,105)	195,819
営業利益	22,190	211	876	640	1,341	25,260	(1,199)	24,061

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	90,727	83,773	12,604	3,409	4,155	194,671	—	194,671
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,884	16,147	7,050	13	118	48,214	(48,214)	—
計	115,612	99,920	19,654	3,423	4,274	242,885	(48,214)	194,671
営業利益	22,428	552	1,273	357	813	25,425	(1,281)	24,144

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦および中国以外の区分に属する主な国または地域
- ① 北 米：米国、カナダ
 - ② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等
 - ③ アジア他：アジア諸国および中南米諸国等
- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

(3) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	91,393	18,179	2,763	6,061	118,397
II 連結売上高(百万円)					195,819
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	46.7	9.3	1.4	3.1	60.5

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	85,312	15,798	3,573	5,242	109,927
II 連結売上高(百万円)					194,671
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	43.8	8.1	1.8	2.7	56.5

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 中国以外の区分に属する主な国または地域

① 北米：米国、カナダ

② 欧州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。
販売諸費 50,225 百万円	販売諸費 48,338 百万円
研究開発費 35,745 百万円	研究開発費 39,383 百万円
給料及び賞与 16,779 百万円	給料及び賞与 16,231 百万円

2009.6

参 考 資 料

平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算

2009 年 7 月 31 日

お問い合わせ

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>



【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

目次

	ページ
1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4. セグメント情報	5
5. 連結貸借対照表	10
6. 連結四半期業績の推移	12
7. 個別情報	16
8. 主要開発品	20
9. 主なイベント	25

- * 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/US\$)	欧州 (円/€)	英国 (円/£)
2009年3月期 第1四半期	期中平均レート	104.55	163.42	206.06
	期末日レート	106.42	168.07	212.35
2009年3月期	期中平均レート	100.53	143.47	173.98
	期末日レート	98.23	129.84	140.45
2010年3月期 第1四半期	期中平均レート	97.32	132.57	150.77
	期末日レート	96.01	135.53	159.54
2010年3月期	予想レート	95.00	125.00	135.00

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

* キャッシュ・インカム

成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	1,958	1,947	99.4	7,817	8,200
売上原価	394	383	97.4	1,525	1,575
研究開発費	357	394	110.2	1,561	1,640
販売費・一般管理費	967	928	96.0	3,814	3,955
営業利益	241	241	100.3	918	1,030
経常利益	239	232	97.1	826	970
四半期(当期)純利益	166	163	98.3	477	630
キャッシュ・インカム	318	307	96.4	1,190	1,200
(前年同期差)					
1株当たり配当金(DPS/円)	—	—	—	140.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	58.4	57.4	△1.0	167.3	221.1
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	111.8	107.7	△4.0	417.8	421.2

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第1四半期			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期
	(億円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	△5	△191	1,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	△129	△51	△550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200	△123	77	△310
現金及び現金同等物の期末残高	1,130	1,052	△78	1,315
フリー・キャッシュ・フロー	63	△107	△170	593

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

	2009年		
	3月末	6月末	増減額
	(億円)		
総資産	11,482	11,274	△208
負債	7,151	6,970	△182
純資産	4,330	4,304	△26
自己資本	4,280	4,251	△28
自己資本比率(%)	37.3	37.7	0.4

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
資本的支出額	85	58	△27	473	295
有形固定資産	75	48	△27	318	225
無形固定資産	10	10	1	156	70
減価償却費	123	121	△1	491	485

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

2. 連結損益計算書

	(億円)						備考
	2009年 3月期		2010年 3月期		前年同期比 %	増減額	
売上高	1,958	100.0	1,947	100.0	99.4	△11	■売上高 ・アリセプトの増加、 アシフェックスの減少
売上原価	393	20.1	383	19.7	97.3	△11	
返品調整引当金繰入(△戻入)額	0	0.0	1	0.0		0	
売上総利益	1,565	79.9	1,563	80.3	99.9	△1	■研究開発費 <増加要因> ・臨床研究テーマの進捗
研究開発費	357	18.3	394	20.2	110.2	36	
販売費・一般管理費	967	49.4	928	47.7	96.0	△39	
営業利益	241	12.3	241	12.4	100.3	1	
営業外収益	18	0.9	14	0.7		△4	
営業外費用	20	1.0	24	1.2		4	
経常利益	239	12.2	232	11.9	97.1	△7	
特別利益	20	1.0	0	0.0		△20	
特別損失	7	0.4	0	0.0		△7	
税金等調整前四半期純利益	252	12.9	231	11.9	91.9	△20	
法人税、住民税及び事業税	160	8.2	133	6.8	82.9	△27	
法人税等調整額	△77	△3.9	△67	△3.4		10	
少数株主利益	2	0.1	2	0.1		△0	
四半期純利益	166	8.5	163	8.4	98.3	△3	
<キャッシュ・インカム>							
四半期純利益	166	8.5	163	8.4	98.3	△3	
有形・無形固定資産減価償却費	69		71			2	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	54		50			△4	
のれん償却額	23		22			△1	
減損損失(投資有価証券評価損含む)	6		—			△6	
キャッシュ・インカム	318	16.3	307	15.8	96.4	△11	

*定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	第1四半期		増減額	備考
	2009年 3月期	2010年 3月期		
税金等調整前四半期純利益	252	231	△20	
減価償却費	123	121	△1	
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	△189	△74	115	
未払金・未払費用等の増減額	65	△11	△77	
その他	90	47	△43	
(小計)	341	315	△26	
利息等の受取及び支払額	△1	△10	△9	
法人税等の支払額	△155	△310	△156	■法人税等の支払額 <増加要因> ・前年に課税所得が増加
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	△5	△191	
資本的支出等(買収などを含む)	△123	△102	21	
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	33	1	△32	
その他	12	△28	△40	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	△129	△51	
短期借入金の純増減額	△1,938	80	2,018	
長期借入れによる収入	732	—	△732	
社債の発行による収入	1,196	—	△1,196	
配当金の支払額	△185	△199	△14	
その他	△5	△3	1	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200	△123	77	
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△6	△29	
現金及び現金同等物の増減額	△70	△263	△193	
現金及び現金同等物の期首残高	1,200	1,315	116	
現金及び現金同等物の期末残高	1,130	1,052	△78	
フリー・キャッシュ・フロー	63	△107	△170	

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

4. セグメント情報

1) 事業の種類別/所在地別売上高

	第1四半期			(億円)
	2009年	2010年	前年同期比 %	通期
	3月期	3月期		2009年 3月期
売上高	1,958	1,947	99.4	7,817
医薬品分野	1,906	1,901	99.8	7,612
日本	798	872	109.3	3,147
北米	893	830	93.0	3,684
欧州	136	124	90.5	497
中国	28	34	123.4	114
アジア他	51	42	81.3	169
その他の分野	52	45	87.0	206
日本	47	35	75.0	177
海外	5	10	193.2	29

*外部顧客に対する売上高であります。

*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

①北米：米国、カナダ

②欧州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

2) 事業の種類別営業利益

	第1四半期			(億円)
	2009年	2010年	前年同期比 %	通期
	3月期	3月期		2009年 3月期
営業利益	241	241	100.3	918
医薬品分野	249	251	100.7	945
その他の分野	2	4	190.5	17
消去又は全社	△11	△14	—	△45

3) 所在地別セグメント情報

(1) 所在地別売上高

	第1四半期			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	1,958	1,947	99.4	7,817
日本	845	907	107.4	3,325
北米	895	838	93.6	3,699
欧州	139	126	90.5	510
中国	28	34	123.4	114
アジア他	51	42	81.3	169
海外計	1,113	1,039	93.4	4,493
海外比率 (%)	56.9	53.4	—	57.5

*外部顧客に対する売上高であります。

(2) 所在地別営業利益

	第1四半期			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
営業利益	241	241	100.3	918
日本	222	224	101.1	842
北米	2	6	261.0	△2
欧州	9	13	145.3	32
中国	6	4	55.8	24
アジア他	13	8	60.6	35
消去又は全社	△12	△13	—	△12

4) 海外売上高

	第1四半期			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	1,958	1,947	99.4	7,817
海外売上高	1,184	1,099	92.8	4,753
北米	914	853	93.3	3,791
欧州	182	158	86.9	640
中国	28	36	129.3	114
アジア他	61	52	86.5	207
海外売上高比率 (%)	60.5	56.5	—	60.8

*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

5) 主力品売上高 (自社)

(1) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
日本	億円	194	234	120.3	782
米国	億円 (百万US\$)	434 (415)	427 (438)	98.3 (105.6)	1,896 (1,886)
欧州	億円	80	72	90.0	288
英国	億円 (百万£)	7 (4)	15 (10)	204.0 (278.8)	34 (19)
フランス	億円 (百万€)	51 (31)	35 (27)	69.0 (85.1)	173 (121)
ドイツ	億円 (百万€)	21 (13)	21 (16)	101.7 (125.3)	81 (57)
中国	億円 (百万元)	1 (9)	2 (14)	158.4 (166.9)	9 (64)
アジア (日本・中国除く)	億円	20	14	69.2	62
総計	億円	729	748	102.5	3,038

*2010年3月期の売上高予想の総計は3,300億円を見込んでおります。

(2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
日本	億円	110	134	121.4	446
米国	億円 (百万US\$)	259 (248)	198 (203)	76.4 (82.1)	1,012 (1,007)
欧州	億円	25	21	83.8	91
英国	億円 (百万£)	6 (3)	6 (4)	88.8 (121.3)	21 (12)
ドイツ	億円 (百万€)	6 (4)	4 (3)	67.3 (83.0)	21 (14)
イタリア	億円 (百万€)	12 (7)	9 (7)	76.5 (94.3)	41 (29)
中国	億円 (百万元)	1 (9)	4 (26)	287.7 (303.3)	7 (44)
アジア (日本・中国除く)	億円	13	11	82.7	43
総計	億円	408	367	89.9	1,599

*2010年3月期の売上高予想の総計は1,570億円を見込んでおります。

*中国 (元) 為替レートは次のとおりであります。

2008年4月～6月	期中平均レート	15.02円/元
2009年4月～6月	期中平均レート	14.25円/元
2008年4月～2009年3月	期中平均レート	14.63円/元

(3) メチコバル (末梢性神経障害治療剤)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
日本	億円	83	83	101.0	313
アジア (中国含む)	億円	24	18	76.1	83
総計	億円	107	102	95.3	395

(4) Aloxi (制吐剤)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	95 (90)	95 (97)	100.3 (107.8)	365 (363)

(5) Dacogen (DNAメチル化阻害剤)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	44 (42)	42 (43)	95.8 (102.9)	151 (150)

(6) ソネグラン (てんかん治療剤)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	5 (4)	5 (5)	112.2 (120.5)	21 (21)
欧州	億円	10	10	97.4	38
アジア	億円	1	0	73.1	2
総計	億円	15	16	100.8	61

6) 人件費、販売費、管理費他

	第1四半期			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
	(億円)			
売上高	1,958	1,947	99.4	7,817
販売費・一般管理費	967	928	96.0	3,814
人件費	208	213	102.0	805
販売費	587	563	95.9	2,401
管理費他	171	152	89.0	608
売上高比率 (%)	49.4	47.7	—	48.8

7) Eisai Inc. (米国)

		第1四半期			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
		(億円)			
売上高	億円	748	839	112.1	3,567
	(百万US\$)	(716)	(862)	(120.5)	(3,548)
うち旧MGI分	(百万US\$)	(—)	(151)	(—)	(416)
営業利益	億円	40	27	66.5	139
	(百万US\$)	(39)	(27)	(70.2)	(139)
四半期(当期)純利益	億円	26	17	66.2	△17
	(百万US\$)	(25)	(18)	(69.4)	(△16)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円	181	182	100.3	853
	(百万US\$)	(174)	(187)	(107.4)	(848)

*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。

5. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2009年 3月末	構成比 %	2009年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動資産	4,648	40.5	4,468	39.6	96.1	△180	
現金及び預金	481		500			20	■現金及び預金＋有価証券 <減少要因> ・法人税等の納付 ・期末配当金の支払い
受取手形及び売掛金	1,916		1,976			60	
有価証券	1,040		784			△256	
たな卸資産	645		647			2	
繰延税金資産	369		356			△13	
その他	200		208			8	
貸倒引当金	△3		△3			△0	
固定資産	6,834	59.5	6,806	60.4	99.6	△28	
有形固定資産	1,555	13.5	1,572	13.9	101.1	17	
建物及び構築物	792		840			47	
その他	763		732			△31	
無形固定資産	3,842	33.5	3,687	32.7	96.0	△155	■無形固定資産 <減少要因> ・減価償却
のれん	1,706		1,645			△61	
販売権	1,436		1,368			△68	
技術資産	570		549			△21	
その他	131		125			△6	
投資その他の資産	1,437	12.5	1,547	13.7	107.7	110	
投資有価証券	606		662			56	
繰延税金資産	708		764			56	
その他	127		124			△2	
貸倒引当金	△4		△3			0	
資産合計	11,482	100.0	11,274	100.0	98.2	△208	

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2009年 3月末	構成比 %	2009年 6月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動負債	2,416	21.0	2,253	20.0	93.3	△163	
支払手形及び買掛金	191		186			△5	
短期借入金	220		300			80	
未払金・未払費用	1,254		1,191			△64	
未払法人税等	331		143			△188	■未払法人税等 <減少要因> ・法人税等の納付
売上割戻引当金	326		336			10	
その他	94		98			4	
固定負債	4,735	41.2	4,717	41.8	99.6	△19	
社債	1,209		1,209			△0	
長期借入金	2,788		2,772			△16	
繰延税金負債	277		268			△9	
退職給付引当金	218		229			11	
役員退職慰労引当金	24		24			△0	
その他	220		215			△4	
負債合計	7,151	62.3	6,970	61.8	97.5	△182	
株主資本	4,856	42.3	4,820	42.7	99.3	△36	
資本金	450		450			—	
資本剰余金	569		569			—	
利益剰余金	4,233		4,197			△36	
自己株式	△397		△397			△0	
評価・換算差額等	△576	△5.0	△568	△5.0	98.6	8	
その他有価証券評価差額金	11		45			33	
繰延ヘッジ損益	△4		△4			△0	
為替換算調整勘定	△583		△608			△26	
新株予約権	6	0.1	6	0.1	103.0	0	
少数株主持分	45	0.4	47	0.4	104.5	2	
純資産合計	4,330	37.7	4,304	38.2	99.4	△26	
負債純資産合計	11,482	100.0	11,274	100.0	98.2	△208	

6. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

	2009年3月期				2010年3月期
	第1	第2	第3	第4	第1
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
売上高	1,958	2,030	1,999	1,830	1,947
売上原価	394	399	396	336	383
研究開発費	357	423	389	392	394
販売費・一般管理費	967	984	945	919	928
営業利益	241	225	269	184	241
営業外損益	△2	△27	△41	△22	△10
経常利益	239	197	228	162	232
特別損益	13	△13	△56	△65	△0
税金等調整前四半期純利益	252	184	172	97	231
四半期純利益	166	121	105	85	163
キャッシュ・インカム	318	279	303	290	307
1株当たり四半期（当期）純利益（EPS/円）	58.4	42.4	36.7	29.9	57.4
1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS/円）	111.8	97.9	106.2	101.8	107.7

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	2009年3月期				2010年3月期
	第1	第2	第3	第4	第1
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	508	16	340	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	△93	△198	△181	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200	△55	195	△249	△123
現金及び現金同等物の期末残高	1,130	1,421	1,303	1,315	1,052
フリー・キャッシュ・フロー	63	400	△67	198	△107

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

3) 貸借対照表項目

<資産の部>

	2009年3月期				2010年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
流動資産	4,334	4,442	4,413	4,648	4,468
固定資産	7,319	7,123	6,558	6,834	6,806
有形固定資産	1,550	1,576	1,493	1,555	1,572
無形固定資産	4,303	4,108	3,605	3,842	3,687
投資その他の資産	1,466	1,440	1,460	1,437	1,547
資産合計	11,653	11,565	10,971	11,482	11,274

<負債及び純資産の部>

	2009年3月期				2010年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
負債	6,915	6,916	6,972	7,151	6,970
流動負債	3,671	2,099	2,273	2,416	2,253
固定負債	3,244	4,818	4,699	4,735	4,717
純資産	4,739	4,649	3,999	4,330	4,304
株主資本	4,745	4,866	4,770	4,856	4,820
評価・換算差額等	△54	△266	△820	△576	△568
新株予約権	6	6	6	6	6
少数株主持分	43	43	42	45	47
負債純資産合計	11,653	11,565	10,971	11,482	11,274

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	2009年3月期				2010年3月期
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
資本的支出額	85	123	71	194	58
有形固定資産	75	103	62	77	48
無形固定資産	10	20	9	117	10
減価償却費	123	126	119	123	121

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) アリセプト売上高（自社）

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	194	188	227	172	234
米国	億円 (百万US\$)	434 (415)	499 (464)	458 (474)	505 (534)	427 (438)
欧州	億円	80	87	63	58	72
英国	億円 (百万£)	7 (4)	13 (6)	5 (4)	8 (6)	15 (10)
フランス	億円 (百万€)	51 (31)	50 (31)	38 (30)	34 (28)	35 (27)
ドイツ	億円 (百万€)	21 (13)	24 (15)	20 (15)	16 (13)	21 (16)
中国	億円 (百万元)	1 (9)	3 (20)	2 (18)	2 (18)	2 (14)
アジア（日本・中国除く）	億円	20	20	12	10	14
総計	億円	729	796	764	748	748

6) パリエット／アシフェックス売上高（自社）

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	110	106	134	95	134
米国	億円 (百万US\$)	259 (248)	270 (251)	236 (245)	247 (263)	198 (203)
欧州	億円	25	26	25	16	21
英国	億円 (百万£)	6 (3)	7 (3)	4 (3)	3 (3)	6 (4)
ドイツ	億円 (百万€)	6 (4)	7 (4)	5 (4)	3 (3)	4 (3)
イタリア	億円 (百万€)	12 (7)	12 (7)	10 (8)	8 (7)	9 (7)
中国	億円 (百万元)	1 (9)	2 (13)	2 (13)	1 (10)	4 (26)
アジア（日本・中国除く）	億円	13	13	10	7	11
総計	億円	408	417	406	367	367

7) メチコバル売上高（自社）

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
日本	億円	83	77	87	65	83
アジア（中国含む）	億円	24	24	18	17	18
総計	億円	107	101	105	82	102

8) Aloxi 売上高 (自社)

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
米国	億円 (百万US\$)	95 (90)	95 (88)	91 (94)	85 (91)	95 (97)

9) Dacogen 売上高 (自社)

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
米国	億円 (百万US\$)	44 (42)	43 (40)	39 (41)	25 (28)	42 (43)

10) ソネグラン売上高 (自社)

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
米国	億円 (百万US\$)	5 (4)	6 (5)	6 (6)	5 (5)	5 (5)
欧州	億円	10	10	9	8	10
アジア	億円	1	1	0	0	0
総計	億円	15	16	15	14	16

11) Eisai Inc. (米国)

		2009年3月期				2010年3月期
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期
売上高	億円 (百万US\$)	748 (716)	980 (913)	906 (932)	932 (986)	839 (862)
うち旧MGI分	(百万US\$)	(—)	(142)	(148)	(126)	(151)
営業利益	億円 (百万US\$)	40 (39)	81 (75)	74 (76)	△55 (△51)	27 (27)
四半期純利益	億円 (百万US\$)	26 (25)	52 (48)	56 (57)	△151 (△147)	17 (18)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	181 (174)	239 (222)	218 (225)	215 (228)	182 (187)

*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。

7. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	1,031	1,092	106.0	4,156	4,410
売上原価	213	209	98.2	814	820
研究開発費	330	368	111.3	1,430	1,555
販売費・一般管理費	286	317	111.0	1,154	1,325
営業利益	202	199	98.4	758	710
経常利益	202	192	94.8	691	660
四半期(当期)純利益	169	148	87.2	566	470

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期	
	(億円)				
営業活動によるキャッシュ・フロー	122	207	85	420	
投資活動によるキャッシュ・フロー	705	△99	△804	415	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△932	△122	810	△1,009	
現金及び現金同等物の期末残高	172	88	△84	102	
フリー・キャッシュ・フロー	65	174	109	253	

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

(3) 貸借対照表項目

<資産の部>

	2009年		
	3月末	6月末	増減額
	(億円)		
流動資産	2,641	2,427	△215
固定資産	6,803	6,939	137
有形固定資産	837	824	△13
無形固定資産	280	272	△8
投資その他の資産	5,686	5,843	157
資産合計	9,444	9,366	△78

<負債及び純資産の部>

(億円)

	2009年		増減額
	3月末	6月末	
負債	4,637	4,579	△58
流動負債	1,126	1,055	△71
固定負債	3,511	3,523	12
純資産	4,807	4,787	△20
株主資本	4,794	4,742	△52
評価・換算差額等	7	39	32
新株予約権	6	6	0
負債純資産合計	9,444	9,366	△78
自己資本	4,801	4,781	△20
自己資本比率 (%)	50.8	51.0	0.2

(4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
資本的支出額	31	26	△5	147	140
有形固定資産	22	17	△4	102	100
無形固定資産	9	9	△1	45	40
減価償却費	44	47	3	178	180

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

2) 売上高の状況

	第1四半期			(億円)
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	通期 2009年 3月期
売上高	1,031	1,092	106.0	4,156
医療用医薬品	663	742	112.0	2,604
医薬品輸出	153	128	83.5	525
一般用医薬品等	44	43	98.1	190
その他の分野（食品添加物、化学品等）	4	3	84.1	17
工業所有権等収益	167	176	105.2	821

3) 地域別輸出状況

	第1四半期			(億円)
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	通期 2009年 3月期
売上高	1,031	1,092	106.0	4,156
輸出高	319	302	94.7	1,341
北米	222	223	100.6	1,016
欧州	73	51	69.7	236
アジア他（中国含む）	24	28	116.1	89
売上高比率（%）	31.0	27.7	—	32.3

*地域区分は次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

*輸出高には工業所有権等収益（海外）を含めて表示しております。

4) 医薬品輸出高

	第1四半期			(億円)
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	通期 2009年 3月期
アリセプト	74	56	75.2	256
パリエット／アシフェックス	57	52	92.4	185
その他	22	19	88.8	84
医薬品輸出計	153	128	83.5	525

5) 医療用医薬品主力製品売上高

(億円)

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	194	234	120.3	782	960
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤 パリエット	110	134	121.4	446	520
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	83	83	101.0	313	310
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	44	40	90.4	160	135
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	21	27	129.0	93	100
経口抗凝固剤 ワーファリン	20	22	110.6	79	90
筋緊張改善剤 ミオナール	21	21	99.9	77	75
非イオン性造影剤 イオメロン	19	19	100.5	71	60
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 剤 グラケー	15	14	90.1	54	40
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	1	12	—	19	75
その他	134	135	100.9	510	490
医療用医薬品計	663	742	112.0	2,604	2,855

*「ヒュミラ」は2008年6月より販売を開始しております。

6) 一般用医薬品等主力製品グループ売上高

(億円)

	第1四半期			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	24	23	97.1	99	105
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等 ナボリングループ	6	6	99.1	22	25
緑の胃ぐすり「サクロン」等 サクロングループ	3	3	98.0	14	15
天然ビタミンE剤「ユベラックス α 2」等 ビタミンEグループ	4	3	81.4	15	10
その他	8	8	108.7	40	40
一般用医薬品等計	44	43	98.1	190	195

8. 主要開発品

1) 開発ステージ別一覧

(1) 承認取得品

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	承認時期	剤形
○ アリセプト (E2020)	【剤形追加】内服ゼリー剤の剤形追加	日本	2009年7月	経口

(2) 申請中・申請準備中開発品

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	申請(予定)時期	剤形
アリセプト (E2020)	【適応追加】脳血管性認知症の効能・効果追加	米国 (欧州)	2002年11月 申請準備中)	経口
E2014	癌性斜頸治療剤 (一般名: B型ボツリヌス毒素)	日本	2006年12月	注射
ガスモチン	消化管運動機能改善剤 (一般名: モサプリド)	アジア ^{※1}	2007年5月	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名: クレブジン)	アジア ^{※1}	2007年5月	経口
KES524	肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 (一般名: シブトラミン)	日本	2007年11月	経口
グルファスト	速効型インスリン分泌促進剤 (一般名: ミチグリニド)	アジア ^{※1}	2008年3月	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】乾癬の効能・効果追加	日本	2008年5月	注射
ゾネグラン (E2090)	【剤形追加】口腔内崩壊錠の剤形追加 (一般名: ソニサミド)	欧州	2009年3月	経口
○ Dacogen (E7373)	【用法・用量追加】骨髄異形成症候群(MDS) 5日間投与の用法・ 用量追加	米国	2009年7月	注射
○ E7389	抗がん剤(乳がん)/微小管ダイナミクス阻害剤 (一般名: エリプリン)	スイス	2009年7月	注射
パリエット (E3810)	【適応追加】非びらん性胃食道逆流症の効能・効果追加	日本	2009年度 (再申請予定)	経口

○: 2009年4月以降の進捗

※1 申請中、申請準備中の対象国は「2) 領域別一覧」(P23~P24)に記載しております。

(3) 臨床試験中開発品 (フェーズⅢ～Ⅱ/Ⅲ)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E2007	てんかん治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州 日本	Ⅲ Ⅲ Ⅱ	2012年度	経口
E5564	敗血症治療剤/エンドトキシン拮抗剤 (一般名:エリトラン)	米国 欧州 日本	Ⅲ Ⅲ Ⅲ	2009年度	注射
E7389	抗がん剤(乳がん)/微小管ダイナミクス阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国 欧州 日本	Ⅲ Ⅲ Ⅱ	2009年度	注射
○ MORAb-003	抗がん剤(卵巣がん)/モノクローナル抗体 (一般名:farletuzumab)	米国	Ⅲ		注射
SEP-190	不眠症治療剤/GABA-A受容体作動剤 (一般名:エスゾピクロン)	日本	Ⅲ	2010年度	経口
T-614	関節リウマチ治療剤 (一般名:イグラチモド)	日本	Ⅲ	2011年度	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】徐放製剤の用法・用量、剤形追加	米国 欧州	Ⅲ Ⅲ	2009年度	経口
アシフェックス (E3810)	【剤形追加】長時間作用型製剤の剤形追加	米国	Ⅲ	2009年度	経口
Saforis (E6014)	口腔粘膜炎治療剤/グルタミン懸濁液	米国	Ⅲ		外用
ソネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん小児適応の効能・効果追加	欧州	Ⅲ	2011年度	経口
ソネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん単剤療法の効能・効果追加	欧州	Ⅲ	2012年度	経口
Dacogen (E7373)	【適応追加】急性骨髄性白血病(AML)の効能・効果追加	米国	Ⅲ	2010年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】強直性脊椎炎の効能・効果追加	日本	Ⅲ	2009年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】若年性関節リウマチの効能・効果追加	日本	Ⅲ	2011年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】関節の構造的損傷の防止の効能・効果追加	日本	Ⅲ	2011年度	注射
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名:クレブジン)	中国	Ⅲ準備中		経口
E0302	筋萎縮性側索硬化症(ALS) (一般名:メコバラミン)	日本	Ⅱ/Ⅲ		注射
AS-3201	糖尿病合併症治療剤/アルドース還元酵素阻害剤 (一般名:ラニレスタット)	米国 ○ 欧州	Ⅱ/Ⅲ Ⅱ/Ⅲ		経口
amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成治療剤/治療用DNAワクチン	米国	Ⅱ/Ⅲ		注射
パリエット (E3810)	【用法・用量追加】逆流性食道炎の用法・用量追加	日本	Ⅱ/Ⅲ		経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】クローン病の効能・効果追加	日本	Ⅱ/Ⅲ	2009年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】潰瘍性大腸炎の効能・効果追加	日本	Ⅱ/Ⅲ	2011年度	注射

○: 2009年4月以降の進捗

- ・アリセプトの小児のがん化学療法後の注意力障害(米国 フェーズⅢ)の有用性に関する小児用開発計画について、FDAより Written Request (臨床試験実施要請書)を発行しない旨の連絡を受けたため、本リストから削除しました。
- ・Dacogenの骨髄異形成症候群(MDS) 延命効果の有用性に対する試験は適応追加等を目的としていないため、本リストから削除しました。

(4) 臨床試験中開発品 (フェーズⅡ)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E2007	神経因性疼痛治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州	Ⅱ Ⅱ		経口
E2007	多発性硬化症治療剤/AMPA受容体拮抗剤	欧州	Ⅱ		経口
E2007	片頭痛予防/AMPA受容体拮抗剤	米国	Ⅱ		経口
E5555	急性冠症候群治療剤/トロンビン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本	Ⅱ Ⅱ Ⅱ	2012年度	経口
E5555	アテローム血栓症治療剤/トロンビン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本	Ⅱ Ⅱ Ⅱ		経口
E6201	乾癬治療剤/新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤	米国	Ⅱ		外用
E7080	抗がん剤(甲状腺がん) /VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤	米国	Ⅱ		経口
E7389	抗がん剤(非小細胞肺癌) /微小管ダイナミクス阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国	Ⅱ		注射
E7389	抗がん剤(前立腺がん) /微小管ダイナミクス阻害剤	米国 欧州	Ⅱ Ⅱ		注射
E7389	抗がん剤(肉腫) /微小管ダイナミクス阻害剤	欧州	Ⅱ		注射
E7820	抗がん剤(大腸がん) / α 2インテグリン発現抑制剤	米国	Ⅱ		経口
AKR-501 (E5501)	血小板減少症治療剤/トロンボポエチン受容体作動剤	米国	Ⅱ		経口
MORAb-009	抗がん剤(膵臓がん) /モノクローナル抗体	米国	Ⅱ		注射
MORAb-009	抗がん剤(中皮腫) /モノクローナル抗体	米国	Ⅱ		注射
アリセプト (E2020)	【適応追加】レビー小体型認知症の効能・効果追加	日本	Ⅱ		経口
irofulven (E7850)	抗がん剤(前立腺がん等) /DNA合成阻害剤	米国	Ⅱ		注射

○: 2009年4月以降の進捗

・超音波造影剤E7210(日本 フェーズⅡ)は開発を一時休止していることから、本リストから削除しました。

2) 領域別一覽

(1) 神経

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
アリセプト (E2020)	アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に基づき、すでにアルツハイマー型認知症治療剤として承認を取得しています。(一般名：ドネペジル)	【適応追加等】 脳血管性認知症 米：申請中 レビー小体型認知症 日：フェーズII 【剤形追加】 内服ゼリー剤 日：承認 徐放製剤 欧米：フェーズIII
E2007	グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。神経疾患に対し様々な効果を期待しています。(一般名：ペランパネル)	てんかん 欧米：フェーズIII 日：フェーズII 神経因性疼痛 欧米：フェーズII 片頭痛予防 米：フェーズII 多発性硬化症 欧：フェーズII
AS-3201	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。(一般名：ラニレスタット)	糖尿病性神経障害 欧米：フェーズII/III
ソネグラン (E2090)	幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しています。(一般名：ソニサミド)	【適応追加】 単剤療法 欧：フェーズIII 小児適応 欧：フェーズIII 【剤形追加】 口腔内崩壊錠 欧：申請中
E0302	傷ついた末梢神経を修復する作用があり、すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われています。新たに、筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤をめざしています。(一般名：メコバラミン)	筋萎縮性側索硬化症(ALS) 日：フェーズII/III
E2014	神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。痙性斜頸治療剤をめざしています。(一般名：B型ボツリヌス毒素)	痙性斜頸 日：申請中
SEP-190	非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、睡眠導入剤として、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しています。(一般名：エスソピクロン)	不眠症 日：フェーズIII

(2) がん、支持療法

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
E7389	クロイソカイメン由来のハリコンドリノBの合成誘導体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。(一般名：エリプリン)	乳がん 欧米：フェーズIII 日：フェーズII スイス：申請中 非小細胞肺癌 米：フェーズII 前立腺がん 欧米：フェーズII 肉腫 欧：フェーズII
E7820	血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン α 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。	大腸がん 米：フェーズII
E7080	血管内皮増殖因子(VEGF)の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼを阻害する、血管新生阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。	甲状腺がん 米：フェーズII
MORAb-003	葉酸受容体 α (FRA)に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。(一般名：farletuzumab)	卵巣がん 米：フェーズIII
MORAb-009	メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。	膵臓がん 米：フェーズII 中皮腫 米：フェーズII
Dacogen (E7373)	DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髓異形成症候群(MDS)治療剤として承認を取得しています。(一般名：デシタピン)	【適応追加】 急性骨髄性白血病(AML) 米：フェーズIII 【用法・用量】 MDS5日間投与 米：申請中
irofulven (E7850)	DNA合成阻害により各種固形がんの効果を目指しています。	前立腺がん等 米：フェーズII
AKR-501 (E5501)	トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。	特発性血小板減少性紫斑病 米：フェーズII
amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成等を引き起こす原因の一つであるヒトパピローマウイルス(HPV)に対する、治療用DNAワクチンです。	子宮頸部異形成 米：フェーズII/III
Saforis (E6014)	グルタミン懸濁液製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎症に対して保護作用を示します。	口腔粘膜炎症 米：フェーズIII

(3) 血管・免疫反応

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
ヒュミラ (D2E7)	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なタンパク質であるTNF α を中和します。日本では関節リウマチ治療剤として承認を取得しています。 (一般名：アダリムマブ)	【適応追加】 乾癬 日：申請中 若年性関節リウマチ 日：フェーズⅢ 強直性脊椎炎 日：フェーズⅢ 関節の構造的損傷の防止 日：フェーズⅢ クローン病 日：フェーズⅡ/Ⅲ 潰瘍性大腸炎 日：フェーズⅡ/Ⅲ
E5564	エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。 (一般名：エリトラン)	重症敗血症 国際共同試験：フェーズⅢ
E5555	トロンビン受容体（PAR-1）と選択的に結合し、トロンビンが介在する血小板や血管平滑筋細胞の活性化を抑制し、血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。	急性冠症候群 日米欧：フェーズⅡ アテローム血栓症 日米欧：フェーズⅡ
E6201	新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。	乾癬 米：フェーズⅡ
T-614	炎症性のサイトカインの産生、リンパ球増殖および免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を期待しています。 (一般名：イグラチモド)	関節リウマチ 日：フェーズⅢ

(4) 消化器

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
パリエット/ アシフェックス (E3810)	プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。 (一般名：ラベプラゾール)	【適応追加】 非びらん性胃食道逆流症 日：再申請準備中 【用法・用量追加】 逆流性食道炎 日：フェーズⅡ/Ⅲ 【剤形追加】 長時間作用型製剤 米：フェーズⅢ
ガスモチン	選択的なセロトニン（5-HT ₄ ）受容体アゴニストであり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。すでにタイで承認されており、またフィリピンでも承認されました。 (一般名：モサプリド)	機能性胃腸症 フィリピン：承認 マレーシア、インドネシア、シンガポール：申請中 アセアン等5カ国：申請準備中

(5) 他疾患

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
KES524	脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込みを阻害することにより、中枢におけるノルアドレナリン機能とセロトニン機能が亢進し、満腹感の亢進とエネルギー消費促進が起こり、体重増加の抑制をもたらします。(一般名：シフトラミン)	肥満症 日：申請中
クレブジン	DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。すでにフィリピンで承認されています。 (一般名：クレブジン)	慢性B型肝炎 マレーシア、タイ、インドネシア、インド：申請中 アセアン2カ国：申請準備中 中国：フェーズⅢ準備中
グルファスト	膵臓の β 細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を示します。 (一般名：ミチグリニド)	糖尿病 マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、シンガポール：申請中 アセアン5カ国：申請準備中

9. 主なイベント

年 月	概 要
2009年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ キッセイ薬品工業株式会社と、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ」のアセアン諸国、インド、スリランカにおけるライセンス契約を締結 <4月2日リリース> ・ ノーベルファーマ株式会社と、「Gliadel Wafer」の日本におけるライセンス契約を締結 <4月6日リリース> ・ てんかん治療剤「Zebinix」、欧州で成人の部分てんかんにおける他の抗てんかん薬との併用療法の効能・効果で承認を取得 <4月28日リリース>
2009年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年5月8日発表の米国ファイザー社の10-Qレポートについて <5月9日リリース> ・ スtockオプションとして新株予約権を発行する件 <5月14日リリース> ・ シンバイオ製薬株式会社と、「ベンダムスチン塩酸塩」の韓国およびシンガポールにおける開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結 <5月18日リリース>
2009年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断薬事業子会社の三光純薬株式会社が生化学自動分析装置用の間質性肺炎診断補助マーカーKL-6測定試薬「ナノピアKL-6 エーザイ」を日本で新発売（7月1日発売） <6月1日リリース> ・ オーストリアに医薬品販売子会社を設立 <6月17日リリース> ・ 欧州戦略拠点「欧州ナレッジセンター」を開設 <6月26日リリース>
2009年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新組織体制「エーザイ・プロダクトクリエーション・システムズ」をスタート ・ 「アリセプト」の患者価値貢献のためのプログラム（剤形・用途追加）の現況について <7月2日リリース> ・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ <7月6日リリース> ・ DNAメチル化阻害剤「Dacogen」、小児の急性骨髄性白血病を対象とした臨床試験を米国で開始 <7月6日リリース> ・ 米国食品医薬品局（FDA）がDNAメチル化阻害剤「Dacogen」の骨髄異形成症候群における5日間投与に関する用法・用量追加申請を受理 <7月8日リリース> ・ ジェネリック医薬品事業子会社のエルメッド エーザイ株式会社が株式会社三和化学研究所と、経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤「メニレット70%ゼリー」の日本における販売に関するライセンス契約を締結 <7月14日リリース> ・ アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」、日本で新剤形の内服ゼリー剤の承認を取得 <7月22日リリース> ・ 抗がん剤「E7389」、スイスで局所進行・転移性乳がんを適応として承認申請 <7月27日リリース> ・ Biocompatibles International plc（英国）と、血管塞栓用ピースに関する日本における開発と販売に係るライセンス契約を締結 <7月28日リリース>